

公益社団法人 日本雪氷学会北海道支部 2021 年度第 5 回理事会（議事録）

1. 日 時

2022 年 3 月 24 日（木）15 時 30 分～18 時 25 分

2. 場 所

札幌市立大学 会議室（札幌市中央区南 1 条西 6 丁目 20-1 ジョブキタビル 9 階）、及び
オンライン（Zoom）

3. 出席者

出席者：松澤、高橋、松下、千葉*、永田*、澤田、今西*、大島*、石川*、廣川*、
館山*、山野井*（以上 12 名）

委任状：的場、東、日下（以上 3 名）

※進行：高橋、記録：松下（以上、敬称略。*オンライン参加）

4. 議 事

（1） 第 4 回理事会の議事録の確認

- ・ 松下理事より、第 4 回理事会の議事録の説明があり、修正がないことを確認した。

（2） 雪氷災害調査チームの活動について（報告）

- ・ 山野井理事より、2021 年度の雪氷災害調査チームの活動と寄付金の状況について報告が行われた。また、3 月 23 日に倶知安町のニセコイワオヌプリで発生した雪崩の調査のため、日下理事とガイドの 2 名が出動したことが報告された。

（3） 地域講演会について（報告）

- ・ 館山理事より、地域講演会の代替として「ジュエリーアイスのふしぎ（講師：吉川泰弘）」と題する 16 分間のオンラインコンテンツを作成済みであり、年度内に支部 YouTube チャンネルで公開する予定であることが報告された。
- ・ 講演内容に子供向けとしては難しい内容が含まれているが、公開後に各理事から意見を募るなどして課題を整理し、今後の参考にすることが確認された。

（4） 次年度の総会、研究発表会について（審議）

- ・ 石川理事より、研究発表会の開催案内等のスケジュールと会場の予約状況について説明が行われ、開催形式について審議が行われた。
- ・ 審議の結果、今後の感染状況を見通すことができない状況にあることなどから、研究発表会はオンラインで開催することが決定された。これに伴い会場の予約はキャンセルし、登録料の徴収は行わず、懇親会は開催しないことが決められた。

- ・ 研究発表会の開催案内は 3 月末から行い、参加申込期限は 4 月 18 日(月)とする。研究発表会の開催は、5 月 13 日(金)と 14 日(土)の 2 日間を予定する。
- ・ 松下理事より、総会等の開催形式について発議があり、総会はメールによる文書審議、第 1 回理事会と顧問・評議委員会はオンラインで開催することが決定した。
- ・ 総会は 4 月下旬から 5 月上旬の 2 週間を審議期間とする予定である。第 1 回理事会と顧問・評議委員会の日程は、今後、庶務で調整する。

(5) 総会資料について (審議)

- ・ 松下理事より、2021 年度事業報告案と 2022 年度事業計画案について説明が行われた。今後、今回の理事会の決定事項と各担当理事からの情報に基づいて修正を行う。
- ・ 千葉理事より、2021 年度収支決算案と 2022 年度収支予算案の説明が行われた。また、支部の預金通帳の廃止について発議が行われた。通帳の廃止については、この口座が研究発表会の登録料等の振込先として使われていることから、会計担当理事が他の支部の状況等を確認して、次回以降の理事会で審議を継続することとなった。

(6) 支部表彰規程に関する申し合わせ事項について (審議)

- ・ 大島理事より、前回の理事会の意見に基づいて修正を行った「北海道支部表彰規程に関する申し合わせ」の案について説明が行われた。審議の結果、修正等の意見はなく、今後運用していくこととなった。

(7) 2022 年度役員について (審議)

- ・ 松下理事より、2022 年度の監事、顧問、評議員の素案として、長年務めていただいた顧問と評議員の交代等について説明が行われた。審議の結果、役員体制の方向性については概ね了承されたが、一部について庶務で再度検討することとなった。
- ・ 2022 年度の理事について、各担当理事から交代や継続の確認が行われた。また今後、1 名で担当している事業については、理事の追加を検討する。

(8) 2022 年度雪氷研究大会について (報告)

- ・ 松澤支部長より、前回の理事会からの変更事項として、ポスターはオンライン開催に変更、口頭発表は対面開催を予定するが 9 月中旬の感染状況等を勘案して最終判断すること、雪氷楽会と交流会の対面開催は行わないこと等が説明された。

(9) その他

- ・ 澤田理事より、支部 HP に、支部 ML の登録申し込みに関する記述があることが指摘され、この記述が実態に合っていないため削除することとなった。
- ・ 今年度の理事会は今回が最後となる。今後、研究発表会や総会の開催について確認や審議が必要な場合は、ML 等を通じて確認や審議を行うことが確認された。

以 上